

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和元年度 第5回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和2年1月29日（水） 19：00～20：15
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 退院支援・医療介護連携部会の報告 2 在宅医療コーディネーター部会の報告 3 多職種連携研修部会の報告 4 ICT 部会の報告 5 在宅医療支援センターの報告 6 その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出席委員	18人 吉澤委員長、大原職務代理、井下委員、大橋委員、岡委員、長内委員、香西委員、田中委員、辻委員、永岡委員、中村委員、林委員、坂東委員、古川委員、松本委員、三橋委員、三宅委員、和田委員
関係者	その他：医師会（伊藤副会長） 市医師会事務局（6人）
傍 聴 者	0人
担 当 課 及び 連絡先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

（２）議事内容

1	退院支援・医療介護連携部会の報告 ・第8回・第9回・第10回退院支援・医療介護連携部会（資料1、1-2、1-3）
議 事 内 容	
○A 委員から報告がある。 （委員長）入退院支援ルール及び情報共有シートは、3月20日のミーティングで3回目の協議となります。様々な意見を集約しながら完成されつつありますが、実際に使用しながらブラッシュアップしていくことが必要だと思います。	
2	在宅医療コーディネーター部会の報告 ・第4回・第5回在宅医療コーディネーター養成研修会（資料2、2-2） ・第6回在宅医療コーディネーター養成研修会公開講座（資料2-3） ・第1回・第2回在宅医療コーディネータースキルアップ研修（資料2-4、2-5）

議 事 内 容

○B 委員から報告がある。

(委員長) 在宅医療コーディネーターも 5 期生が研修を修了し、200 名を超える人材が養成されています。また、スキルアップ研修会も開催され、修了生がたくさん参加しています。今後も、研修を受講したことだけで終わらせないように、それぞれの仕事の中で研修の学びを活かし、継続的にスキルアップしていただきたいと思います。

3

多職種連携研修部会の報告

- ・第 4 回多職種連携部会（資料 3）
- ・在宅医療と介護に関する市民公開講座について（資料 3-2）

議 事 内 容

○職務代理から報告がある。

(委員長) 市民公開講座に向けてこの部会を中心に準備が進んでいます。前回の市民公開講座の落合恵子さんを招致した時と比較して、募集開始段階から口コミで広がり、既に申込みが 300 名を超えそうな状況になっています。ぜひ参加いただくとともに、周りの方にも宣伝をお願いします。

4

ICT 部会の報告

- ・在宅ケア便利ナビの更新について（資料 4）

議 事 内 容

○事務局から報告がある。

(C 委員) 歯科医師も年齢とともに往診が難しくなり、訪問診療をやめられていく医院もあるのが現状です。

(委員長) 在宅ケア便利ナビは、まだまだ市民の方に浸透していないので、積極的に周知・啓発を行うようお願いします。

5

在宅医療支援センターの 11 月・12 月の活動報告について（資料 5）

議 事 内 容

○在宅医療支援センターから報告がある。

(委員長) 相談件数も増加し、充実感があります。11 月の事例についてですが、支援センターの業務というよりは、病院のメディカルソーシャルワーカー（MSW）の業務になっているように思われます。

(D 委員) 転院先の病院の調整という事例ですが、MSW の本来の業務だと思います。MSW も院内に在籍している人数や他施設と連携できるネットワークがあるか等、個人で様々なレベルがあるのが現状ですので、協会入会を勧めて全体的なレベルをあげたり、ネットワークの構築を進めていきたいと思います。

(委員長) 12 月の事例は、透析患者でインスリンを行っている医療依存度の高い方の受け入れ先に苦慮しているケースです。

(B 委員) 個人情報問題があり、実名が出せないというのは理解できますが、情報を共有したいので、受け入れが可能な施設や病院は実名を出すことはできないでしょうか。

(委員長) 実名を出し、受けてくれない施設というレッテルが貼られるのでは困ります。

(A 委員) 退院先がどこになるかで治療方針の変更が必要となります。施設であればスケールを使用している方の受け入れは難しいと思います。高度な医療はこれからも出てくるとは思いますが、受け入れ先を考えると、金銭的な問題もあり、治療変更が必要になると思います。現状では課題になっています。

(委員長) 今回の事例は、地域医療連携室の MSW が取組むべき業務ではありますが、支援センターが自分たちの業務ではないと言ってしまうのは難しいと思います。今後、困難事例等あれば、会議の委員さん方も支援センターを助けていただくようお願いします。

6 その他：令和元年度高松市協働企画提案事業について（資料参照）

議 事 内 容

○E 委員から報告がある。

健康サポート薬局（地域の住民の方々の健康サポートをする薬局）を中学校区に最低 1 軒おき、かかりつけ機能と健康サポート機能を進める予定。健康サポート機能の一つは、医療機関やその他の連携機関の紹介先リストを作成して薬局に常時設置しておき、内容を確認できるようにしておく機能である。健康サポート薬局になるための条件についてハードルが高く、県内でも数軒である。

(B 委員) 健康サポート薬局の名簿があれば、確認ができ、応援していくことができると思います。

○事務局から報告がある。

- ・協働企画提案事業の説明と市民向けの在宅ケア周知啓発に関する動画の視聴
- ・本会議の委員任期が令和 2 年 3 月 31 日で満了となっているため、次期委員の推薦依頼状を各委員の所属団体あてに 2 月頃に送らせてもらう。高松市内 3 医師会連合会と高松市歯科医師会については、地域医療対策室からの送付となる。

(3) 次回開催予定

会議名	令和元年度第 6 回高松市在宅医療介護連携推進会議		
日時	3 月 25 日（水）19：00～	場所	高松市医師会館 2 階 大会議室